

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする 文化プログラムについて

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、2020年東京大会）の開催を控え、世界の注目が集まる中、文化庁をはじめとする各組織で2020年東京大会を契機とする文化芸術に係る取り組みが進められています。今後、これらの取り組みとの連携を図りながら、大和市の方針や実施手法について検討し、来年度に改定作業を予定している「大和市文化芸術振興基本計画[第3期]」に反映していく必要があります。

1. 国の動向

文化庁では、平成27年5月に閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」に示された「文化芸術立国の姿」の実現を目指し、2020年東京大会を契機とする文化プログラムを全国展開させる取り組みを進めています。

(1) 文化プログラムとは

文化プログラムは、オリンピックのあり方を定めるオリンピック憲章において、オリンピック開催都市での実施を義務付けているものです。このことから、近代オリンピックでは、オリンピックを「スポーツの祭典」だけでなく、「文化の祭典」と位置づけています。過去の大会でもカルチュラル・オリンピック期間（前回大会から4年間）に、開催都市で大規模な文化プログラムが展開されています。

(2) 文化プログラムに係る認証制度

①東京2020参画プログラム

【主体：(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会】

○東京2020公認プログラム

認証対象：国、開催都市、会場関連自治体、スポンサー等の大会公認事業

○東京2020応援プログラム

認証対象：大会関係以外の自治体、非営利団体等が実施する事業

②beyond2020プログラム

【主体：内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局】

認証対象：公的機関のほか、民間事業者その他任意団体等の文化に関わる事業

⇒別紙「文化プログラムに係る認証制度について」参照

2. 県の動向

2020年東京大会の開催を契機に、神奈川に世界中の人々を引き付けるため、前述の文化プログラムとの連携を図りつつ、「オール神奈川」で文化プログラムを推進することを目指しています。

(1) 神奈川県文化プログラム推進協議会の設置

(構成員：県知事、市町村長)

(2) 統一テーマの設定「つながる、つづく、つむぎだす」

「オール神奈川」の取り組みに一体感を生み出すとともに、県・市町村間で連携するイベントの開催を容易にするため、統一テーマが設定されました。

統一テーマの決定理由は以下のとおりです。

- ・様々な文化イベント等を発信するため、具体的な内容を指すものではなく、より普遍的で、幅広く包括できる言葉が望ましいこと
- ・2020年東京オリンピック大会組織委員会が掲げる3つの基本コンセプト「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」との親和性が高いこと

(3) マグカル・ドット・ネットによる情報発信

- ① 県内文化施設、市町村等の文化芸術情報の掲載
- ② マグカル・ドット・ネットの多言語化

3. 大和市の取り組み

(1) 文化プログラム講演会の実施

文化プログラムの周知を目的に、市内で活動している文化芸術団体を中心に、市民を対象とした講演会を開催しました。

日 時 平成29年3月11日(土) 13:30～15:30

場 所 渋谷学習センター多目的ホール

講 師 ・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

芸術・文化政策センター長/主席研究員 太下義之氏

・ミズノスイムチームアシスタントコーチ/オリンピックメダリスト

星奈津美氏

来場者数 182人

(2) 文化プログラム推進事業の実施

多くの市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供し、文化プログラムの周知と普及の推進を図るため、市内のスポーツイベントと連携し、文化プログラム推進事業を実施します。実施される文化イベントは、beyond2020プログラム認証事業として開催します。

① 百人一首競技かるた体験(『スポーツ鬼ごっこ～ヤマトン杯～2017』同時開催)

日 時 平成29年8月26日(日) 9:00～13:00

協 力 (一社)全日本かるた協会さがみ野会

② 茶道体験(『ファミリーフェスタ』同時開催)

日 時 平成29年10月9日(月・祝)

協 力 大和茶道会

③ 阿波おどり体験(『スポーツしちゃお!』同時開催)

日 時 平成29年10月15日(日)

協 力 神奈川大和阿波おどり振興協会

※会場はいずれも大和スポーツセンター

※主管は(公財)スポーツ・よか・みどり財団【beyond2020プログラム登録団体】